



磁気データ消去装置の刷新で
個人情報の情報漏洩を防止し、セキュリティを強化

滋賀県大津市役所 様

目的・課題

業務効率向上

業種

官公庁・自治体

導入商品

データ消去

情報セキュリティ対策に力を入れる大津市役所。機器の入れ替えで、確実なデータの消去と作業の効率化を実現。



導入先プロフィール (2021年7月現在)

施設名	滋賀県大津市役所
所在地	〒520-0037 滋賀県大津市御陵町3-4 第2別館
URL	https://www.city.otsu.lg.jp/

自治体の扱うデータには個人情報や機密情報が含まれ、セキュリティ対策は必須です。従来から情報セキュリティ対策に対して高い意識を持っていた滋賀県大津市役所では、全職員向けに徹底したセキュリティ研修を行うなど対策を充実させてきました。こうした意識のもと、ハードディスクの廃棄時にデータ消去を義務付けていたものの、確実性や作業効率性に課題がありました。そこで、磁気データ消去装置「MagWiper MW-30000X」と磁気消去ログ管理システム「OP-MW-LMS」を新たに導入し、確実なデータの消去と業務時間の短縮や管理のスリム化を実現しました。

課題

情報漏洩のリスクと
非効率な運用

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 複数部署での証跡管理 | ▶ 廃棄ハードディスクの管理が煩雑に |
| 2 手書きでの証跡管理 | ▶ アナログ作業で非効率 |
| 3 小型の磁気消去装置 | ▶ 一度に処理できる台数が少ない |

対策

- 1 「MagWiper MW-30000X」の導入で確実なデータ消去を瞬時に実施可能
- 2 「OP-MW-LMS」の導入により、廃棄ハードディスクの管理を簡略化

効果

証跡管理の省力化と
処理作業の効率化

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 消去ログが取れるように | ▶ 証跡管理の省力化 |
| 2 バーコードスキャンによる運用 | ▶ 運用の手間を軽減 |
| 3 ノートPCを分解不要で処理 | ▶ データ消去作業の効率化 |

お客様インタビュー

大津市政政策調整部 情報システム課 主査 澤村 真泰氏
大津市政政策調整部 情報システム課 システム第1係長 竹内 友香氏



ノートPCもそのまま瞬時にデータ消去できるため、大幅な業務効率化を実現。 管理システムもスキャンのみという手軽さ。

概要

- ・率先してセキュリティの強化を
- ・ポリシーに基づく厳しい情報管理

厳格なセキュリティ対策を実行する大津市

従来から情報セキュリティに対して高い意識を持っている滋賀県大津市役所では、以前より情報セキュリティの対策に力を入れており、さまざまな取り組みを行ってきました。情報セキュリティ対策の中心を担ってきた大津市政政策調整部 情報システム課は、全職員向けに対して研修を徹底するなど、重要な役割を担っています。

ポリシーを策定しセキュリティ対策を徹底

大津市役所では、公官庁として市民の個人情報を含むさまざまな機密データを扱っているため、情報セキュリティに関するポリシーを策定し、データの消去やハードディスクの処分には厳格な取り決めを設けています。廃棄するハードディスクは必ず磁気消去を行い、個人情報が記録されているハードディスクに関しては、物理破壊をしてから廃棄する対策を講じています。

目標・課題

- ・データ消去の確実性追求と効率化
- ・廃棄ハードディスク管理の一本化

小型で出力の小さかった磁気データ消去装置

情報システム課ではもともと磁気消去装置を導入していましたが、小型だったため一度で処理できる台数が少なく、証跡管理も煩雑になっていました。そのため、「確実にデータ消去をしつつ、より手軽で管理のしやすい機器を求めています」と大津市政政策調整部 情報システム課 主査の澤村 真泰氏（以下、澤村氏）は語ります。

部署が複数にまたがり管理が煩雑

市役所内にはさまざまな部署があり、中には情報システム課と同様に証跡管理を行うところもありましたが、管理部門が複数にわたるため、廃棄ハードディスクの扱いも煩雑になっていました。情報漏洩は絶対に避けなければならないので、管理が容易なプロセスの確立が急務でした。

解決策

- ・磁気データ消去装置の入れ替え実施
- ・磁気消去管理システムの導入

瞬時にデータ消去、ノートPCでも分解不要

大津市役所はバッファローの提案を受け、アドバンスデザイン社の「MagWiper MW-30000X」を導入。データの消去は蓄電時間を含めて数十秒で、複数のハードディスクを同時に消去処理できます。「B4以下のノートPCであれば分解不要ですし、ボタン1つで処理できる操作性の高さもポイントです」と大津市政政策調整部 情報システム課 システム第1係長の竹内 友香氏は話します。

磁気消去管理システムで情報漏洩防止

磁気データ消去装置に加えて磁気消去管理システム「OP-MW-LMS」も同時に採用し、データ消去の管理を一元化しました。管理システムへの登録はデータ削除時にPCやハードディスクのバーコードを読み取るだけで、誰でも簡単に行えます。消去処理のログをデータベース化し、一覧として参照可能なため、証跡管理も楽に行えます。

効果

- ・管理にかかるコストを大幅削減
- ・市役所全体でセキュリティを厳格化

バーコードを読み込むだけの運用で効率改善

磁気消去管理システムの導入により、これまで手書きで運用していた証跡管理が、バーコードをスキャンするだけの運用へと進化しました。「管理にあてる作業時間も大幅に短縮されたため、業務の効率化にも貢献しています」と、澤村氏も効果に満足しています。

全職員のセキュリティ意識の向上を

大津市では、昨年よりセキュリティ研修を強化し、全員が受講するように徹底しています。ハードディスクのデータ消去に関する内容も含まれているため、職員のセキュリティ意識の向上に繋がっています。



管理システムへの登録は、ハードディスクのバーコードを読み取るだけで登録可能



「MagWiper MW-30000X」は蓄電時間を含めても数十秒でデータ消去が完了し、ハードディスクに多い垂直磁気記録方式にも対応するパワーを兼ね備えている。磁気消去ログ管理システム「OP-MW-LMS」はハードディスクのバーコードを読み込むだけで証跡管理が簡単に行えるため、部門をまたぐ運用が容易になった。

導入商品



アドバンスデザイン
磁気データ消去装置

MagWiper All-In-One MW-30000X